

注目記事

- ◆1～2ページ 法人設立40周年祝賀会
- ◆3ページ 一泊旅行・日帰り旅行
- ◆4～5ページ 暑気払い・夏祭り
- ◆7ページ 職員研修報告
- ◆8ページ ご寄付を頂きました

法人本部
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切12-1
☎(0246) 74-1551 ㊟(0246) 74-1561

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

障害者支援施設ふじみの園・ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

グループホーム レジデンスなごそ
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかのな

就労継続支援B型ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

就労継続支援B型天真庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033 ㊟(0246) 77-2733

障害児通所支援第2チャーム・日中一時支援第2チャーム
〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) 84-6882 ㊟(0246) 84-6883

障害児通所支援みよん・日中一時支援みよん
〒974-8261 福島県いわき市植田町林内11-1
☎(0246) 85-5720 ㊟(0246) 85-5721

ハーモニセンター
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町19-10

・指定特定相談事業所せんとらる
☎(0246) 38-3520 ㊟(0246) 38-3521

・就労継続支援B型・就労移行支援虹のかけはし
☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

・障害児通所支援チャーム・日中一時支援チャーム
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

社会福祉法人誠心会創立 40周年記念式典・祝賀会

8月24日（土）植田町やまたまやにて社会福祉法人誠心会創立40周年記念式典・祝賀会が執り行われました。出席した職員は平服を纏い、少し厳かな雰囲気でしたが、ご祝辞をいただいた衆議員議員 吉野正芳様、いわき市長 清水敏男様、いわき市議会議員 蛭田克様をはじめとする、多くの来賓の方にご出席いただき、華やかさと和やかさが加わった式典となりました。

当法人の設立は昭和54年にさかのぼります。当時のいわき市には生活保護受給者のうち、保護を必要とする心身障害者が増加傾向にありながらも、重複障害等を持つ方々を受け入れる救護施設はありませんでした。そのような状況下で各関係機関から救護施設の建設が強く要望され、当法人の前理事長である松崎敦を中心として市内の有志に相談、「社会福祉法人誠心会」を設立、その翌年市内で唯一の生活保護法に基づく「救護施設やしおみ荘」を開所する運びとなりました。

平成2年、福祉八法改正により在宅福祉サービスが法定化されましたが、障害を持つ方々の介護の実状は家族中心であり、家族の負担や責務の軽減につながらないものでした。更にいわき市において知的障害の更生の援助や必要な保護を行う必要性が顕著に見られるようになって、知的障害者の更生施設は少なく、各機関より施設建設の要望があがりました。そこで開所に至ったのが「ふじみ更生園」（現在：ふじみの園）です。開所当初は利用者の特性の強さに戸惑い、右往左往することもありましたが、現理事長 松崎有一を中心に職員が特性を学び、個性を受け止め、よりよい環境作りを心掛ける、まさに利用者の方との信頼関係を築き上げながらの支援でありました。



法人設立から40年。そして新しい時代の幕開けの中、今日に至るまで事業を展開してこれましたのは、ひとえに多くの方々のご理解、ご支援のおかげと心より感謝しております。これを機に職員一同決意を新たにし、障害の有無に関わらず、皆が希望を持ちながら地域で当たり前の暮らしができる出会い、ふれあい、支え合える地域づくりを目指して参ります。

一泊旅行～梅雨でも楽しい～



やしおみ荘

6月27日(木)～28日(金) 利用者11名と職員4名の計15名にて埼玉方面に一泊旅行に出かけました。梅雨の時期で、当日は台風も近づいてきており、心配していましたが、雨が降ることはなく、たくさんの思い出を作ることが出来ました。

一日目の昼食は羽生パーキングにて「鬼平江戸処」をイメージしたフードコートでそれぞれ好きなものを注文し、江戸情緒あふれる雰囲気の中で食べる時間はとても貴重でした。いつも時代劇を見ていた利用者にとって、テレビの中の世界を身近に感じるととても嬉しいひと時だったと思います。その後は秩父市の「秩父まつり会館」に移動し、山車展示室を見たり、秩父夜祭の様子をプロジェクションマッピングを通して、バーチャル体験しました。ワクワクしながら初めての3D眼鏡を手にし、利用者はその映像に驚きを隠せない様子でした。

夜はナチュラルファームシティ農園ホテルに宿泊しました。埼玉県産の食材や地元の旬の野菜を使ったお料理はとても美味しく、彩りも豊かな数々の懐石料理で、目でも楽しむことが出来ました。また利用者同士、笑顔も尽きることがなく素敵な時間を過ごしました。

二日目は飯能市に3月にオープンしたばかりの「ムーミンバレーパーク」に足を運びました。このテーマパークは利用者の方もとても楽しみにしていた施設です。物語に出てくるフィンランドの湖や木、山等の豊かな自然まで再現された施設であり、見応えも十分でした。ワークショップでは、たくさんのキャラクターの種類やデザインから選び、缶バッジを作成しました。来園記念としてはもちろん、洋服に付けての園内の散歩も格別でした。ムーミン屋敷や劇場等を観た後、食事はデンマーク伝統料理のオープンサンドイッチを頂きました。おしゃれな北欧の雰囲気を堪能しながらの食事は、とても美味しかったと評判でした。

終始天候悪化が心配でしたが、無事に行程通りに進むことができ、利用者も伝統や自然を感じながら楽しむことができた2日間の旅行でした。



初夏の動物園へ～日帰り旅行～

やしおみ荘

6月20日(木) 今年の日帰り旅行は、茨城県日立市にある「かみね動物園」に出かけました。近年はいわき市内の観光地への旅行でしたが、今回は「いわきから離れて、少し遠い場所に行きたい」との希望があったことから利用者と話し合い、この場所に決定しました。久しぶりに福島県外に行く方もおり、行く場所が決まると何度も日程を確認する等楽しみにしていました。

当日は梅雨時期である為、雨の心配もしていましたが、天候に恵まれ、移動のバスの車中では海の景色が見えると、利用者間で教え合ったり、歓声をあげる方もいました。

かみね動物園に着き、入園口を通るとすぐにゾウ2頭が出迎えてくれましたが、ゾウの大きさに驚き、近づいて見ることを怖がってしまう方もいました。ゾウと記念写真を撮ろうとしましたが、この時は後ろを向いた状態のままでした。利用者の願いも届かず、なかなかカメラの方を向いてくれなかった為、迫力ある写真とはいきませんでしたが、これも一つの思い出となりました。

昼食はレストランで食事をし、そのお膳の品数の多さに何から食べ始めてよいか、迷っている方もいました。食事の場でも動物園での思い出話をし、久しぶりの遠出の外出を楽しまれているようでした。

観光と食事を終え、帰る途中のバスの中では、動物園内を散策した疲れと美味しい食事の満腹感で、寝てしまう方もいましたが、荘に到着すると仲の良い利用者や職員にお土産話をしており、終始笑顔が見られていました。

暑気払い Bowling バウリング大会 Tournament

天真庵

8月23日(金)午前中に作業をした後、午後から天真庵にて暑気払いを行いました。

何日も前からとても楽しみにしている様子で、休憩時間には暑気払いの話題で持ち切りでした。手作りでピンを10本準備しボウリング大会の始まりです。最初は緊張していた方もスベアやストライクが出ると「よっしゃーやったー」と大きな声が出て、大盛り上がりでした。全員が一体となって楽しめた一日となりました。



ワークセンターしおさい

8月30日(金)午前中

は作業を行い、午後からいわきゴールドレーンにて暑気払いのボウリング大会を開催しました。その日のために筋トレを積んできた利用者もいた程、皆さん楽しみにしていたイベントのひとつで、午前中の作業にも一段と集中力を高めて頑張っていました。

今回のボウリング大会は好成績を残す利用者が多数出るレベルの高い戦いになり、ストライクやスベアが出るとハイタッチを交わすなど大盛り上がりでした。気分もリフレッシュし、作業への気持ちも改めて引き締めることができました。



虹のかけはし

8月30日(金)逸る気持ちを抑え、午前中の作業に集中して取り組み、楽しみにしていたボウリング大会を開催しました。昼食中に去年のボウリング大会の話をしながら「今年のスコアはどうだろう」といった会話も聞こえてきました。

ボウリング会場へ到着すると、周囲を見渡し緊張した様子でした。真剣にボールを選び、スタートの合図でゲームを始めると真剣な表情でボウルを投げ、倒れたピンの数にかかわらず、拍手をしたり、ハイタッチをしたりと互いを健闘し合う様子が見られました。

短い時間での暑気払いでしたが、楽しいひと時を過ごす事ができました。



夏まつり やしおみ荘



今年、令和初となる夏まつりが8月4日(日)に行われました。

当日を迎えるまで準備を進める中、櫓の設営や提灯がつき、いわき踊りの練習を重ねるうちに利用者の皆さんが今か今かと楽しみにしている姿が見受けられました。

当日、雨の心配はなく、猛暑も一休みしたところで、無事にオープニングを始めることが出来ました。オープニングはやしおみ荘自治会長の開会宣言を行なった後、自治会の出し物である“いわき踊り”を櫓の周りで踊りました。本番では笑顔で踊ることが出来ていました。

自治会を中心とした利用者のいわき踊りを披露した後は、いわきベレーザさんによるサンバ音楽。参加型の催し物であり、利用者も一緒に音楽に合わせて楽器を鳴らしていましたが、いわきベレーザさんが近くにきて参加を促すと照れてしまう方もいました。ジャグリングを披露して頂いたYOKOTAさんは、なんと顎にカラーコーンを乗せて積み上げる、ギネス記録保持者(令和元年7月現在)です。今回はギネス記録より少ない数のカラーコーンでパフォーマンスして頂き、あまりの迫力に利用者の方も驚きながら拍手をしていました。次に行われたのはフラダンスのプラナニフラさん。今回は同法人の事業所であるチャーむ、第2チャーむ、みによんの子ども達も一緒にフラダンスを披露してくれました。披露前は緊張した様子でしたが、衣装を着て音楽が流れるとステージ上で華麗にフラダンスを踊り、癒しの音楽に合わせて踊った姿はとても素敵でした。

次第に夜も近づき、提灯も灯りだした頃、上遠野青年会によるじゃんがらの太鼓と鐘の音が響き渡ってきました。じゃんがらを見て体を揺らして踊っている利用者やいわきの夏の風物詩であるじゃんがらを心待ちにして見ている地域の方もたくさんいました。

じゃんがらの後はいよいよ志摩幸子さんの歌謡ショーです。利用者や地域の方から「さっちゃん」と愛称と呼ばれると手を振りながらステージ上で歌を歌って頂き、観客の方から次から次へと握手を求められていました。志摩幸子さんの歌謡ショーが終わると夜空に1つ2つと大輪のように咲き誇る花火が打ち上げられました。

去年同様、梅雨明けから猛暑が続き、利用者や夏まつりに来て頂いた皆様の体調を心配しましたが、大盛況のうち夏まつりは幕を閉じました。今年も夏まつりを楽しんでいる利用者や地域の方との交流を見て、地域交流の素晴らしさを改めて感じました。

この場をお借りし、地域の皆様、ボランティアの皆様、ご協力頂いた関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。



華道教室

第2チャーむ

7月15日(月)第2チャーむにて華道教室を行いました。今回は花屋さんで好きな花を選ぶことから始めました。迷いながらも好きな花を選び、第2チャーむに戻って準備を始めると、剣山や水盤などの見慣れない道具類に戸惑っていました。しかし、自分で選んだ花をテーブルに広げると、「どうするのかな」という期待感でいっぱいが見られました。そして、トルコ桔梗や百合、カーネーションなど、季節の花を一つ一つ手に取り、向きと角度、長さを決めながら生けていき、完成した作品を満足そうに眺めていました。玄関に飾り、他利用者や保護者からも褒められると嬉しそうに笑顔で応えていました。



警察署見学・交通安全教室

チャーむ・第2チャーむ・みによん

8月21日(水)にいわき東警察署見学・交通安全教室を行いました。警察署見学では館内の説明を受け、普段乗ることが出来ないパトカーへ乗車して、実際にマイクを使用してアナウンスを体験したりするなど、様々な体験をすることが出来ました。交通安全教室では交通安全協会に派遣依頼をし、紙芝居や信号機を使用しながらとてもわかりやすく交通ルールの説明をしていただきました。交通ルール説明後、実際に横断歩道を渡って皆で交通ルールの再確認を行いました。終了後に反射板などのお土産を頂き夏休みの良い思い出になりました。



クレハ工場見学

チャーむ・第2チャーむ・みによん

8月22日(木)チャーむ、第2チャーむ、みによんの3事業所合同での株式会社クレハいわき事業所工場見学が実施されました。当日は職員を含め47名で参加しました。はじめに、クレハいわき事業所の概要やクレハグループの紹介、地域での活動などDVDを通して学びました。説明が終わるとバスに乗って工場内の見学を行いました。研究所や実験棟、医療品製造所など様々な工場があり、職員の方が優しく丁寧に説明をしてくださいました。その後、特例子会社のさんしゃいんクレハへ訪問し、職場体験をしてきました。職場内の清掃の仕方や、書類をまとめて届け先のポストへ入れるという流れ作業に挑戦してきました。職員の方々の説明をよく聞き、丁寧に取りくむ様子が見られました。実際に工場や施設を見て、職員の方々のお話を聞き、働くという貴重な体験をし、とても充実した見学となりました。



職員研修報告

ふじみの園 生活支援員

黒谷 なつみ

8月21日(水)～23日(金)の3日間、福島県総合社会福祉センターにて開催された「令和元年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修」に参加させていただきました。講義を通して、利用者対応の在り方や職員同士での関係づくりについて学びました。講義以外に、他施設の職員から学んだ利用者との関わりもありました。自身の利用者との関わりについて見直す機会となり、今後の利用者支援に生かしていきたいと思いました。学ぶこと、振り返ることを続け、より良い支援員となれるよう精進したいと思います。



市民総ぐるみ運動

ふじみの園

市民総ぐるみ運動を予定していた日が生憎の雨であった為、別日の6月14日(金)に日中活動の散歩の時間を使って、利用者30名・職員5名で園周辺のゴミ拾いを行いました。散歩コースの農道には、たばこの吸い殻や空き缶等のゴミが捨てられており、利用者の中には「こんなところに捨てちゃだめだね」と言う方もいました。きれいな環境を守る為に、次回の市民総ぐるみ運動も一生懸命取り組みたいと思います。



三和電業グループ様より寄付をいただきました

三和電業グループ 三和空調株式会社
HVAC事業部 郡山営業所様より、寄付金
200,000円をいただきました。三和電業グルー
プ様においては、グループ各社の利益の一部を
社会奉仕金として、災害支援や社会福祉団体へ
寄付を行い、地域・社会貢献活動として毎年実



施されております。当法
人の利用者様へより良い
支援につながるよう、有
効に活用させていただきます。ありがとうございました。



やしおみ荘地域交流センター前私道の 道路舗装工事が完了しました

この度、やしおみ荘地域交流センター前の未舗装の私道を社会福祉法人誠心会後援会様
が中心になり、令和元年度いわき市私道整備事業補助金の活用並びに社会福祉法人誠心会
後援会様及び近隣住民のご厚意により舗装整備されました。地域住民と共に大切に使用させ
ていただきます。ありがとうございました。



寄付を頂いた方

三和空調株式会社 郡山営業所 様

佐藤 淳一 様(佐藤理容所 様)

編 集 後 記

朝晩めっきり涼しくなってきましたね。皆さん体調など崩していませんか。今年はすでにニュースではインフルエンザで学級閉鎖の学校もあるとか。皆さんも私は大丈夫と思わず、今からうがい・手洗いを徹底して気をつけ、食欲の秋でもある今、美味しいものを食べて体力を付けましょう。ただし、食べすぎには注意して下さいね。